

2013(平成 25)年度 事業報告書

2014年5月

学校法人 京都精華大学

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

本学の建学の理念は、初代学長の岡本清一が本学の前身である京都精華短期大学の設立時に提示した以下の「教育の基本方針に関する覚書」に立脚する。

1. 京都精華短期大学は、人間を尊重し、人間を大切にすることを、その教育の基本理念とする。この理念は日本国憲法および教育基本法を貫き、世界人権宣言の背骨をなすものである。
2. 京都精華短期大学は特定の宗教による教育を行わない。しかし諸宗教の求めてきた真理と、人間に対する誠実と愛の精神は、これを尊重する。
3. 学生に対しては、師を敬うことが教えられる。師を敬うことなくして、人格的感化と学問的指導を受けることはできないからである。そして敬師の教育を通じて、父母と隣人とに対する敬愛の心を養う。
4. 教員の学生に対する愛情責任は、親の子に対するそれが無限であるように、無限でなければならない。職員もまた教員に準じて教室外教育の一斑の責任を負う。
5. 学内における学生の自由と自治は尊重され、その精神の涵養がはかれる。従って学生は、学内の秩序と環境の整頓に対して責任を負わなければならない。
6. 礼と言葉の紊れが、新しい時代に向かって正され、品位のない態度と言葉とは、学園から除かれなければならない。
7. かくしてわが京都精華短期大学における教育の一切は、新しい人類史の展開に対して責任を負い、日本と世界に尽くそうとする人間の形成にささげられる。

(2) 学校法人の沿革

年 度	事 項
1968 (昭和 43) 年	4 月 京都精華短期大学開学 (設置者: 学校法人京都精華学園)。英語英文科 (入学定員 100 名)、美術科 (入学者定員 50 名) を設置。
1970 (昭和 45) 年	4 月 美術科・英語英文科に専攻科を開設。
1979 (昭和 54) 年	4 月 京都精華大学開学。美術学部造形学科 (専門分野は洋画分・日本画・立体造形。入学定員 60 名)、美術学部デザイン学科 (専門分野はデザイン・染織・マンガ。入学定員 60 名) を設置。 短期大学を短期大学部に名称変更。
1982 (昭和 57) 年	4 月 京都精華大学短期大学部美術科および美術専攻科を廃止。
1987 (昭和 62) 年	4 月 美術学部造形学科に版画分野・陶芸分野、デザイン学科に建築分野を開設。
1989 (平成元) 年	4 月 人文学部人文学科開設 (短期大学英語英文科を改組)。
1991 (平成 3) 年	4 月 京都精華大学大学院開学 (美術研究科造形専攻・デザイン専攻)。 6 月 京都精華大学短期大学部廃止。

年 度	事 項
1993（平成 5）年	4 月 大学院に人文学研究科を開設。 12 月 学校法人木野学園の設置。
2000（平成 12）年	4 月 人文学部に環境社会学科、芸術学部マンガ学科（ストーリーマンガ、カートゥーンマンガ）を開設。 美術学部を芸術学部に変更。大学院美術研究科を芸術研究科に変更。
2003（平成 15）年	4 月 学校法人名を「学校法人木野学園」から「学校法人京都精華大学」に変更。 人文学部人文学科を改組再編し、社会メディア学科・文化表現学科を設置。 大学院芸術研究科に芸術専攻博士後期課程を開設。
2006（平成 18）年	4 月 デザイン学部（ビジュアルデザイン学科・プロダクトデザイン学科・建築学科）、マンガ学部（マンガ学科・マンガプロデュース学科・アニメーション学科）を開設。 芸術学部は造形学科を再編し、素材表現学科・メディア造形学科を開設。 11 月 烏丸御池に京都国際マンガミュージアムを開設（京都市との共同事業）。
2008（平成 20）年	4 月 学校法人インターナショナル学園（専修学校京都インターアクト美術学校設置者）と合併。
2009（平成 21）年	4 月 人文学部（環境社会学科・社会メディア学科・文化表現学科）を改組再編し、総合人文学科を開設。 3 月 京都インターアクト美術学校を廃止。
2010（平成 22）年	4 月 大学院にデザイン研究科・マンガ研究科を開設。 8 月 四条烏丸に産学連携サテライトスペース kara-S を開設。
2012（平成 24）年	4 月 大学院マンガ研究科に博士後期課程を開設。
2013（平成 25）年	4 月 ポピュラーカルチャー学部を開設。デザイン学部イラスト学科を開設。マンガ学部マンガ学科を再編し、ギャグマンガコース、キャラクターデザインコースを開設。

(3) 設置する学校・学部・学科等

◎設置する大学（2013年5月1日現在）

- ・設置者 学校法人 京都精華大学
- ・所在地 京都市左京区岩倉木野町 137 番地
- ・理事長 赤坂 博
- ・設置する学校 京都精華大学（学長 坪内成晃）

◎設置する学部

2013（平成25）年3月31日現在

	学部・研究科	学 科	開設年	摘要
学 部	芸術学部	造 形 学 科	1979（昭和54）年	
		素 材 表 現 学 科	2006（平成18）年	
		メ デ ィ ア 造 形 学 科	2006（平成18）年	
	デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	2006（平成18）年	
		プロダクトデザイン学科	2006（平成18）年	
		建 築 学 科	2006（平成18）年	
		イ ラ ス ト 学 科	2013（平成25）年	
	マンガ学部	マ ン ガ 学 科	2006（平成18）年	
		マンガプロデュース学科	2006（平成18）年	2013（平成25）年4月募集停止
		アニメーション学科	2006（平成18）年	
	人文学部	社会メディア学科	2003（平成15）年	2009（平成21）年4月募集停止
		文化表現学科	2003（平成15）年	2009（平成21）年4月募集停止
		環境社会学科	2000（平成12）年	2009（平成21）年4月募集停止
総合人文学科		2009（平成21）年		
ポピュラーカルチャー学部	ポピュラーカルチャー学科	2013（平成25）年		
大 学 院	芸術研究科	博 士 前 期 課 程	1991（平成3）年	
		博 士 後 期 課 程	2003（平成15）年	
	デザイン研究科	修 士 課 程	2010（平成22）年	
	マンガ研究科	博 士 前 期 課 程	2010（平成22）年	
		博 士 後 期 課 程	2012（平成24）年	
	人文学研究科	修 士 課 程	1993（平成5）年	

(4) 役員の概要

◎理事

2014年3月31日現在
定員数：理事8人～10人

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
理事長	赤坂 博	常 勤	2002年12月～2005年12月専務理事、常務理事（総務担当） 2005年12月～2008年12月専務理事、常務理事（企画担当） 2008年12月理事長就任
学 長	坪内 成晃	常 勤	2009年3月～2010年5月常務理事（学生担当） 2010年5月学長就任
専務理事	上々手 良夫	常 勤	2005年12月～2008年12月常務理事（総務担当） 2008年12月専務理事就任
常務理事	武田 恵司	常 勤	2011年12月常務理事（学生担当）就任
常務理事	新井 清一	常 勤	2011年12月常務理事（教学担当）就任
常務理事	関口 正春	常 勤	2011年12月常務理事（企画担当）就任
理 事	安村 幸駿	非常勤	2008年12月理事就任（㈱京都銀行特別顧問）
理 事	高瀬 哲	非常勤	2011年12月理事就任 （㈱葵プロモーション相談役）
理 事	納谷 廣美	非常勤	2013年5月理事就任 （明治大学学事顧問、明治大学名誉教授、学校法人明治大学評議員）
理 事	櫻井 謙次	非常勤	2013年5月理事就任 （京都タワー株式会社代表取締役社長）

◎監事

2014年3月31日現在
定員数：2人～3人

監 事	崎間 昌一郎	非常勤	1996年12月監事就任 （京都総合法律事務所弁護士）
監 事	位ノ花 俊明	非常勤	2007年5月監事就任 （社会福祉法人 百万遍ともいき会理事）
監 事	堂山 道生	非常勤	2002年12月～2008年12月評議員 2008年12月監事就任 （㈱システムディ代表取締役会長）

(5) 評議員の概要

◎評議員氏名

2014年3月31日現在
定員数 21人～23人

氏名	主な現職等
赤坂 博	学校法人京都精華大学 理事長
坪内 成晃	京都精華大学 学長
武田 恵司	学校法人京都精華大学 常務理事、京都精華大学 副学長（学生担当）
新井 清一	学校法人京都精華大学 常務理事、京都精華大学 副学長（教学担当）
上々手 良夫	学校法人京都精華大学 専務理事、常務理事（総務担当）兼務
関口 正春	学校法人京都精華大学 常務理事（企画担当）、京都精華大学 企画室長
堤 邦彦	京都精華大学 人文学部 教授
竹宮 恵子	京都精華大学 マンガ学部 教授
松本 英夫	京都精華大学 芸術学部 教授
池垣 禎彦	京都精華大学 芸術学部 教授
石田 涼	学校法人京都精華大学 入試広報部長
福岡 正藏	京都精華大学 学長室長
杉浦 章介	有限会社杉浦熔接 代表取締役社長
谷 眞美子	英語教室キッズクラブ代表、同窓会木野会会長
三村 一郎	株式会社三國屋 代表取締役社長
稲垣 秀樹	元天理高等学校 教諭
上村 多恵子	京南倉庫株式会社 取締役社長
河村 純子	河村能舞台
栗山 裕子	建築家、NPO 法人古材バンクの会副会長
高木 太郎	ニューカラー写真印刷株式会社 代表取締役社長
寺本 義明	元京都市立醍醐中学校校長
畑 正高	株式会社松榮堂 代表取締役社長
中西 恵一	敦賀市立中央小学校校長

(6) 教職員の概要

◎教職員数

2013年5月1日現在(単位:人)

区 分	所 属	計
教育職員 (嘱託助手含む)	芸術学部	42
	デザイン学部	36
	マンガ学部	46
	人文学部	45
	ポピュラーカルチャー学部	15
	キャリアデザインセンター	2
	計	186
事務職員 (理事、嘱託事務職員・契約事務職員含む)	法人部門	27
	大学部門	56
	計	83
合 計		269

(7) 施設等の状況

◎現有施設設備の所在地等 (2014年3月31日現在)

- ・校地面積 227,197.45 m²
(自己所有校地: 224,423.60 m²、借用校地: 2,773.85 m²)
- ・校舎面積 70,877.67 m²

(8) 学生数

◎2013年度学生数

(2013年5月1日現在)

() 内は2012年度以前の定員 (単位:人)

学部	学科	入学定員	収容定員	現員数	コース/学年					
					コース	1年	2年	3年	4年	コース計
芸術学部	造形学科	112	448	435	洋画	45	38	52	41	176
					日本画	46	45	38	44	173
					立体造形	21	29	19	17	86
	素材表現学科	64	256	178	陶芸	18	11	11	22	62
					テキスタイル	27	17	36	36	116
	メディア造形学科	64	256	251	版画	35	35	36	34	140
					映像	31	23	29	28	111
計	240	960	864	学年計	223	198	221	222	864	
デザイン学部	イラスト学科	64	256	62	イラスト	62	0	0	0	62
	ビジュアルデザイン学科	64 (96)	256 (384)	364	グラフィック	37	30	29	32	128
					イラスト	1	33	34	34	102
					デジクリ	36	35	29	34	134
	プロダクトデザイン学科	48 (64)	192 (256)	218	P C D	0	0	2	38	40
					I P D	0	0	1	18	19
					プロダクトコミュニケーション	24	26	11	0	61
	ライフクリエイション	38	31	29	0	98				
建築学科	32 (48)	128 (192)	120	建築	24	23	36	37	120	
計	208	832	764	学年計	222	178	171	193	764	
マンガ学部	マンガ学科	168	672	492	カートゥーン	26	39	30	34	129
					ストーリー	73	75	67	63	278
					マンガプロデュース	27	0	0	0	27
					ギャグマンガ	25	0	0	0	25
					キャラクターデザイン	33	0	0	0	33
	マンガプロデュース学科	(40)	(160)	102	マンガプロデュース	1	30	41	30	102
	アニメーション学科	64	256	273	アニメーション	69	77	65	62	273
計	232	928	867	学年計	254	221	203	189	867	
ポピュラーカルチャー学部	ポピュラーカルチャー学科	118	472	93	音楽	63	0	0	0	63
					ファッション	30	0	0	0	30
計	118	472	93	学年計	93	0	0	0	93	
人文学部	環境社会学科	(120)	(480)	6		0	0	0	6	6
	社会メディア学科	(175)	(700)	11		0	0	0	11	11
	文化表現学科	(155)	(620)	11		0	0	0	11	11
	総合人文学科	300 (450)	1200 (1800)	948		152	220	255	321	948
	計	300 (450)	1200 (1800)	976	学年計	152	220	255	349	976
学部計		1,098	4,392	3,564		944	817	850	953	3,564

(単位：人)

大学院	専攻	入学定員	収容定員	現員数	学年			
					1年	2年	3年	専攻計
芸術研究科	博士前期課程 芸術専攻	20	40	51	22	29	-	51
	博士後期課程 芸術専攻	5	15	13	3	3	7	13
	計	25	55	64	25	32	7	64
デザイン研究科	修士課程 デザイン専攻	10	20	10	5	5	-	10
	修士課程 建築専攻	5	10	3	1	2	-	3
	計	15	30	13	6	7	-	13
マンガ研究科	博士前期課程 マンガ専攻	20	40	39	20	19	-	39
	博士後期課程 マンガ専攻	4	12	8	5	3	0	8
	計	24	52	47	25	22	0	47
人文学研究科	修士課程 人文学専攻	10	20	14	8	6	-	14
	計	10	20	14	8	6	-	14
大学院計		74	157	138	64	67	7	138

総計	1,172	4,549	3,702
----	--------------	--------------	--------------

(9) 就職等の状況

◎2013 年度卒業生の就職実績

2014 年 4 月 20 日現在

学部	就職者数	進学者数	主な内定・進学先
芸術学部 卒業生 202 名	108 名	20 名	【ゲーム】任天堂/グリー/高砂電器産業/ニューロン・エイジ/アバンテック/ラクジン 【映像・アニメーション】京都アニメーション/WITSTUDIO/タイトルエイト/空気/JIKAN Design 【服飾】アシックス商事/アッシュペー・フランス/アズノウアズ/ニチマン/しょうざん/双基 【製造/工房】エド・インター/天平窯/エンゼルプレイングカード/マツモト/西野工房 【広告印刷デザイン】東精版印刷/今永製本/有美堂グラフィック/シグナル広告/きかんしコム 【流通・小売・サービス】フェリシモ/三城/鶴屋吉信/仙太郎/白鳩/ジェネレーション・エックス/STUDIO ARC/Abri de photo/東急ハンズ/丸栄ガクブチ/南禅寺順正 【舞台美術・照明・音響】ライブ総合舞台/響映/バンケット・プランニング 【その他】三井住友建設/春日大社 【教職】同志社小学校/武庫川女子学院/三重県立みえ夢学園高等学校/明石市立王子小学校/飛龍高等学校三島スクール 【進学】京都精華大学大学院/東京藝術大学大学院、愛知県立芸術大学大学院

学部	就職者数	進学者数	主な内定・進学先
デザイン学部 卒業生 174 名	101 名	9 名	【広告・印刷・デザイン事務所等】(株)電通/(株)ケイアートファクトリー/(株)フロムグラフィック/吉村デザイン事務所/Age Global Networks(株)/(株)STARRYWORKS/合名会社グルー/(株)明成孝橋美術/山野印刷(株) 【IT・Web】チームラボ(株)/ピクシブ(株)/アイ・ムーブ(株)/(株)工房/(株)ココノエ 【製造・商社】(株)ナリス化粧品/(株)アライヘルメット/東亜金属(株)/小泉成器(株)/松下ラゲッジ(株)/(株)フィル/クツワ(株)/(株)TJMデザイン 【服飾・雑貨・小売】(株)フェリシモ/(株)千趣会/(株)中川政七商店 【住宅・建設】(株)スペース/吉忠マネキン(株)/想伸建設(株)/昭和住宅(株)/Y's design 建築設計室(株)/(株)後田工務所/(株)グランドホーム/(株)武市ウインド名古屋/岩永工業(株) 【ゲーム・アミューズメント】(株)カプコン/(株)セガ 【写真】(株)デコルテ/いぬづか写真室(株) 【その他】(株)ソニーミュージックコミュニケーションズ/(株)トリート/フッズエンタテインメント(株) 【教育】宮崎県立佐土原高等学校 【進学】京都精華大学大学院
マンガ学部 卒業生 168 名	63 名	3 名	【製造】サトーホールディングス/東洋ケース/アセント/サンアート 【IT・Web】サイバーエージェント/ワールドビジネスセンター/コーユービジネスインフォメーションテクニクス/ラプラス・システム 【広告・印刷】P&P 友希/ジャストプリント/相互ビジネスフォーム/クオリアデザイン事務所/永昌堂印刷/カスタムグラビア/北星社 【ゲーム・アミューズメント】カプコン/高砂電器産業/辰巳電子工業/アークシステムワークス/Razest/テクロス 【映像・アニメーション】スタジオよんどしい/イマジカデジタルスケープブロードキャスト事業部/XEBEC/ダイナモピクチャー/ユーフォーテーブル/スタジオコロリド/ライデンフィルム 【流通・小売・サービス】ヨドバシカメラ/満月/大和/もりもと/エイチェ/倉敷ゲストハウス有鄰庵/星の子プロダクション 【社会福祉】全国手話通訳問題研究会/啓明会天草学園 【教育】京都精華女子高等学校/京都芸術高等学校/上田市立丸子中央小学校(長野県)/アトリエ遊 【その他】JAたじま/北陸銀行 【進学】京都精華大学大学院
人文学部 卒業生 243 名	134 名	9 名	【流通・小売】IDC大塚家具/東急ハンズ/エービーシー・マート/イノブン/西利/日産プリンス/福寿園 【服飾】サマンサ・タバサ・ジャパンリミテッド/アーバンリサーチ/トリニティアーツ/クロスカンパニー 【広告・印刷】いろは出版 【食品】オレンジハウスかまどや/マルヒロ/パパジョンズ 【旅行・レジャー】星野リゾート/吉田屋旅館/トラベルハート 【情報・通信】地域情報ネットワーク/高知電子計算センター 【医療・福祉】関西医科大学附属枚方病院/京都大原記念病院グループ/大寿会 【教育】滋賀県立水口高等学校/自由の森学園 【その他】東京舞台照明/平安神宮 【進学】京都精華大学大学院/同志社大学大学院/立命館大学大学院
計	406 名	41 名	

2. 事業の概要

(1) 教育事業

① 建学理念の再生

- ・ 創立 45 周年事業の一環として、ダライ・ラマ 14 世の講演会、寄附募集を実施した。ダライ・ラマ講演会は 11 月 23 日と 24 日に実施され、23 日の学内講演会は本学体育館で開催、1,477 名（在学生 450 名、保護者 280 名、卒業生 600 名、高校生 130 名など）が参加した。また翌 24 日は京都国際会館にて一般向け講演会を開催、1,622 名（一般 1,200 名、在学生 100 名、保護者 200 名など）が参加した。講演会の運営スタッフは教職員有志で構成され、在学生もボランティアスタッフとして講演会を成功に導いた。講演会記録として、講演動画を本学ホームページにて公開すると同時にインタビュー記事を含む記録冊子も作成し、一般参加者を含めステークホルダーへ配付している。一般席 600 席に対する、参加申込数は 4,000 名以上にて抽選倍率は約 7 倍となり、講演内容「世界を自由にするための方法」への高い関心が伺える結果であった。
- ・ 寄附募集は目標額 1 億円に対して 9,036 万円の寄附を集め、達成率 90%となると同時に、本学の一般向者向けファンクラブ「セイカファンクラブ」の会員数も合計 500 名となった。
- ・ 毎年開催している岡本清一初代学長の名前を冠した記念講座は、デザイン学部の石川九楊教授を講師として、10 月 5 日に「希望の青空 -日本国憲法を読みなおす-」を開催した。参加者 147 名中の本学関係者の参加は、在学生 13 名を含みわずか 24 名であった。参加者の 95%以上が講演内容に満足している現状を鑑みると、在学生を中心とした本学関係者の参加者が少ないことが課題である。
- ・ 卒業生（19,901 名）の現状を把握するため、9 月にアンケート調査を実施したが、回答 533 件、回収率 2.6%の結果に終わった。大学教学の効果測定を考える上でも、卒業後の状況調査は重要であるため、住所などの基礎データ管理を含め、同窓会との連携体制を強化する検討を開始した。

② 新学部・学科・コースの開設初年次支援

新たに開設したポピュラーカルチャー学部、デザイン学部イラスト学科、マンガ学部マンガ学科ギャグマンガコースとキャラクターデザインコースの入学者は以下の通り。

学部	学科	コース	入学定員	入学者数		入学定員 充足率 (2013年度)	収容定員 充足率 (2014年度)
				2013年度	2014年度		
ポピュラー カルチャー	ポピュラー カルチャー	音楽	118	93	67	79%	68%
		ファッション					
デザイン	イラスト	イラスト	64	62	65	97%	99%
マンガ	マンガ	ギャグマンガ	168*	184*	173*	110%*	106%*
		キャラクター デザイン					

*マンガ学科数値を記載（カートゥーン・ストーリーマンガ・マンガプロデュースの3コースも含めた数値）

これらの新設の学部等を支援するため、以下を実施した。

a) ポピュラーカルチャー学部

2013年度は清風館を改修して1年生のための実習室を整備した。音楽コースの実習室は防音加工を施し、外部からの音の干渉や音漏れがない環境を整えた。ファッションコースでは潤沢な作業スペースを確保することを主眼に実習室が整備された。

学部専用棟である「友愛館」（地上3階地下2階）は2013年度中に工事をすすめ、2014年3月に竣工した。音楽コースの設備として、アコースティック楽器やボーカルの繊細な音色の録音まで可能としたスタジオや練習室、実習室や演習室を備えており、一方ファッションコースの設備として、回廊をイメージした全学年が使用する実習室や講義室を備えている。

b) イラスト学科

2013年度にコースから学科となり、定員も従来への倍の64名となったイラスト学科の新しい体制に対応するため、風光館を改修し、イラスト学科の学習環境を整えた。実習室・演習室8室および大学院研究室、共同研究のほか、版画工房、デッサン室、PCルーム、プロジェクトルームなどの工房をそなえている。

c) ギャグマンガコース

ギャグマンガは自在館地下1階を改修し、実習室および教員研究室を設けた。

d) キャラクターデザインコース

新設となる2013年度は、本館5階を改修して1年生実習室と教員研究室を準備し、2年生を迎える2014年度に向けて、さらに改修によって2年生実習室を設けた。デジタル作画教育に対応するため、大型プロジェクターと、学生一人ひとりにモニターを完備している。

新設学部、学科、コースの新規採用教員は以下のとおり。

学科	コース	専任教員	特別任用教員	助手
ポピュラー カルチャー (学科共通の専任教員として既存他学部からの所属変更者2名あり)	音楽	2名(他に既存他学部からの所属変更者1名)	5名	—
	ファッション	2名	3名	
イラスト	イラスト	3名(他に既存他学部からの所属変更者4名)	1名	1名
マンガ	ギャグマンガ	1名(他に既存他学部からの所属変更者1名)	1名	—
	キャラクターデザイン	2名	1名	—

③ 人文学部・芸術学部の再生

- ・グローバル化が急速に進行する現代社会において、高度な専門性だけでなく広い視野に立脚して培われる教養が要請されることから、時代の求める新しい教養教育を実施するため、また併せて、大学全体の定員充足率の改善を目指すため、本学最大の入学定員と収容定員を持つ人文学部を2015年度に再編することを決定してその準備を進めた。再編の特長として、人文学知を学ぶための基礎教養としての哲学を修めること、人文学知を体系的に学ぶために3専攻(文学専攻・歴史専攻・社会専攻)を配置すること、知の基盤となる「ことば」を獲得させる演習や社会と自分との関係を知り学修成果を社会化する実践的な演習、最長6ヶ月に渡る現地フィールドワークといった学部共通プログラムを段階的に配置することが挙げられる。再編案を検討するに際しては、常務理事会が主体となり、方針策定のための会議(教学構想会議や教学経営会議)を重ね、実行案策定のための組織(学部長他も参加する再編準備委員会)を設置して、具体的内容を決定した。
- ・芸術学部は、教授会にて再編案検討を重ね、メチエの豊かさという特長の深化、社会との連携強化、更なる国際化の推進、学部共通科目の充実による学部教育力の強化などの方針が確認された。この方針にもとづき、社会とのつながりを強化するための教員(理論・プロデュース系教員)の雇用が行われた。

④ 人文学部・デザイン学部建築学科 定員充足率の改善

- ・定員充足率の改善が最重要課題である人文学部では、学部長と教務主任と常務理事との定例会議を実施し、いくつかの教育改革を実施した。具体的には、全在学生へのアンケート調査と面談、自主的学習の集大成となる長期フィールドワークの復活、ゼミ単位の必修化、4年間の学修成果のまとめとなる卒業論文の必修化などの学則改定を行った。その結果、定員充足率の改善には至

ってはいないが、教員間での在学情報の共有が進み、在学生の満足度が向上してキャンパス滞在時間が増加している。

- ・同じく定員充足率の改善が課題である建築学科でも、学科長と常務理事との定例会議を開催して、教育改革活動を実施した。具体的には、在学アンケートと面談にもとづく学生の要望把握とこれに対する対策実施、学則改定案の検討（建築士資格関連授業の強化、デザイン教育の強化、教員会議の定例化）を行った。その結果、事後アンケート調査では、在学生の不満が減少すると同時に、2014年度入学者予定者が前年度より10名増加の30名となり、定員充足率が改善しつつある。

⑤ 大学認証評価（2015年度受審） 点検・評価項目の運用

- ・自己点検・評価運営委員会の下に自己点検・評価実施委員会を設置して、点検・評価項目の運用を志向しつつ「点検・評価報告書 2012年度版」を作成することで、点検評価活動の実質化への取組を開始した。
- ・セイカ・キャンパスライフ・アンケート
学生生活の実態把握と本学の教育・学生支援の改善のために、昨年度に続いて「セイカ・キャンパスライフ・アンケート」を実施した。学生からの回収率は52.7%で、アンケートの集計結果は教職員にフィードバックし、施設設備等の改修を行うとともに、大学ウェブサイトを通して学生や社会に向けて集計結果を公表した。

⑥ 学習支援の工夫 eラーニング教育の推進

- ・学部教育におけるeラーニング授業は、マンガ学部の「表現ナビ」（前期必修15回中3回）と「ICTリテラシー」（後期必修15回）で実施され、マンガ学部（2学科6コース）の全学生250名が受講した。マンガ学部では全学生にPC購入を義務付けているため、1年生のデジタルスキルの向上（作画以外の文章作成、表計算、プレゼンテーションに関するスキル）を目的としたが、マンガ家として独立した際に必要な実践的内容（確定申告方法など）も加味した内容とした。その結果、全体的なスキルの向上やデジタルスキルに対する確実な変化が見られる結果を得ている。
- 2013年度中に構築を完了した、学生生活総合支援サイト「セイカ・ポータル」でのeラーニング授業の配信については、これらの実績を踏まえて検討を行っていくこととした。

（2）学外向け教育事業（エクステンション教育事業）

① マンガ領域資格課程の開発

- ・マンガ学部卒業生のキャリア開拓を支援するため、本学資源（授業科目や京都国際マンガミュージアムなどの施設、国際マンガ研究センターの研究内容など）を活用した、マンガ領域の新しい資格制度の開発を行い、2015年度から順次開講する予定である。

(3) 研究事業

① 全学研究センターの取組

・共同研究の推進

全学研究センターが企画する企画研究プロジェクトとして、今年度より「ポップを教える、ポップで教える～大学におけるポピュラーカルチャー文化教育のあり方に関する実証実験」を設置し支援を行った。また、公募研究プロジェクトとして、2013年度は「圃場から発生する未利用野菜の食品化、及びアートへの応用（研究代表者：田村有香）」の1件を採択し、継続プロジェクト3件とあわせた計4件の研究支援を行った。

・外部研究資金獲得の推進

平成26年度科学研究費補助金は申請件数7件、内採択件数1件の結果となった。

・『京都精華大学紀要』の発行

教職員の研究成果公開を目的とする『京都精華大学紀要』43号を9月、44号を2014年3月に発行し、国内の各大学に配布するとともに、大学ウェブサイトに電子データにて公表した。

・出版活動の推進

研究成果公開を促進するための出版助成事業を行い、2010～2012年度に実施した企画研究プロジェクトの研究成果をとりまとめた『マンガで読み解くマンガ教育』（阿吽社）を刊行した。

② 国際マンガ研究センター

・「グローバルなマンガ研究の確立に向けた国際学術会議の戦略的開催」として、6月インドネシア・バンドン工科大学にて「オルタナティブ・コミック グラフィック・ダイアリーからマンガスタイルまで」をテーマとした国際会議を開催して、アジア、ヨーロッパ、アメリカなど計12カ国からの登壇者を得た。

・「マンガミュージアムを活用した成果公開およびその成果の国際展開研究」では、計11回の展示と計32回の講演会や研究会を開催した。これらの展示キャプションや図録については、原則として日英併記とし、イベントはUstream配信するなど国内外への成果発信に務めた。

・日本のマンガ・アニメ・ゲーム・メディア芸術の振興を目的とする「文化庁メディア芸術コンソーシアム事業」（5カ年事業の4年目）にも積極的に協力をを行い、研究実績や研究者と研究機関のネットワークを用いた支援を行った。

(4) 業務改善

① 「総合学生支援システム」の導入、「事務局業務システム」のリプレースメント

・WindowsXPのサポートが終了することを契機に、情報基盤システム全般のリプレースメントを実施した。旧基盤システムにて例年のようにカスタマイズが実施された経緯を省みて、情報基盤整備委員会を設置して必要な機能の抽出とシステムの要件定義、システム選定等を行った。教学面を支援するシステム基盤として、学生生活総合支援サイト「セイカ・ポータル」を構築、2014年度からの稼動に備えた。「セイカ・ポータル」の主な機能は、履修登録から始まり各種確認（履修科目、成績、休講・補講情報、奨学金案内）や抽選科目申込、シラバス閲覧、キャリア支援情

報の取得などがある。併せて、法人用業務システム（総務・経理系）のリプレースメントも実施して、全学システム基盤の基礎整備が完了した。

② 職員業務の再生

・教職員の協働による在学生支援を強化するため、まず事務局業務の効率化を行う目的で、人材派遣会社の協力を得て職員へのヒアリングによる業務分析を実施した。各課業務の定量的データの収集が完了したため、次年度以降、データ分析等を行い事務局業務の合理化へ着手する。

③ PDCA 推進

・学部等の教学組織も含めた部局単位での事業計画書の作成を開始した。また次年度予算の概算要求制度を取り入れ、予算折衝時期を早期化することで、予算への経営方針の反映や資源の効率的活用、コスト削減等を図った。課題として、自己点検評価活動との同期があり、次年度以降に改善をはかる予定である。

(5) 施設設備

① ポピュラーカルチャー学部の新実習棟建設、設備備品の整備

・2014年3月に完成した友愛館は、地上3階、地下2階、延床面積およそ3,680㎡。2013年4月に新設したポピュラーカルチャー学部の校舎として建設された。音楽コースとファッションコースそれぞれの実習室をはじめ、音楽コースには、日本でも屈指の音響性能を誇る録音ブースを備えたレコーディングスタジオ「Magi Sound Studio」と、ドラムやシンセサイザーなどの機材を常設した6つの練習室を完備。ファッションコースは、自然光のもとで生地本来の色を見ることができるようガラスを多用した設計の明るいフロアに、用途別のプロ仕様の工業用マシン17機種を備えている。

② 学生共用施設設備の新設、改修更新

a) 多目的ホール

友愛館3階に、全学共用の施設として500人を収容できる多目的ホール「Agora」を設けた。7.2chサラウンドのAV環境を備え、音楽ライブや講演会、ファッションショーなど様々なイベントを開催することが可能となった。

b) 写真スタジオ

これまでコース専用の実習室として利用されていた風光館2階F-221を改修し、2013年度後期より全学の学生・教職員が利用可能な写真スタジオとして運用を開始した。三脚、レフ板、照明器具、バック紙なども備え、平面・立体作品の撮影、人物撮影、記録写真の撮影など、各種の撮影に対応している。

c) 学生交流広場

食堂棟「悠々館」横に、学生が交流できる広場を設置した。芝生敷きに椅子とテーブルを兼ねたU字型側溝ブロックを配置し、食事や気軽な歓談に利用できる場となっている。

d) PC ルームの改修など

黎明館の CALL 教室 2 部屋と本館の PC 教室を Windows7 の PC 教室へ改修した。また明るい教室でも講義資料などのデジタルデータの表示が可能となる、大型タッチパネルディスプレイを清風館と春秋館の一般講義室へ整備した。更には自在館の Windows ルームを最新の液晶ペンタブレット 45 台を導入して、PC で自由に絵を描く環境を整備することで、ICT を活用した実技教育への試みも開始した。

(6) 学生支援

- ・従来の各種奨学金を一元化し、経済支援型の奨学金として整備を行った。1 年次には AO 入試 1 期合格者より経費支弁者の収入状況をもとに審査し、100 名に 25 万円の奨学金を給付した。2 年次以降は学年進行に伴って各学年において毎年度審査を実施する。
- ・就職支援のための学生ピアサポート制度を導入した。
- ・2015 年入試よりインターネットによる出願受付を開始することとし、併せてネット出願者への検定料割引制度も導入するための準備を行った。